

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2021.1.25¹⁵ No.399 東京・羽村平和委員会発行



2021年 厳しさもあるが 希望をもって がんばりましょう

横田基地では、コロナ感染者増がとまりません。1月22日時点で基地従業員も含め206人になりました。国民が自粛しているのに米軍横田基地は、新年から沖縄の特殊部隊（グリーンベレー）がきてパラシュート降下訓練を行い、CVオスプレイは夜も離着陸訓練、ホバリング、ホイスト訓練など激しく行っています。「核兵器禁止条約」も発効しました。

米軍基地の撤去も、頑張りましょう。



「核兵器禁止条約」が、2021年1月22日に発効しました。核兵器を、①開発、②実験、③製造、④備蓄、⑤移譲、⑥使用、⑦使用すると威嚇することは国際的に違法なことになったのです。

1月22日羽村駅前では、はむら九条の会、健康友の会、羽村平和委員会など14人が参加してスタンディングを行いました。



核兵器禁止条約

祝
発効

2021年1月22日

核の傘 → 非核の傘

核兵器禁止条約を批准しよう!!

横田基地への飛来機ランキング チャーター機は含まない

【機種別】

機種	機数	種別	軍
1 C-17A	127	大型輸送機	空軍
2 UC-12W/F	95	軽輸送機	海兵隊、海軍
3 KC-135R/T	57	大型空中給油機	空軍
4 RQ-4B	55	無人偵察機	空軍
5 F/A-18	41	戦闘攻撃機	海兵隊、海軍
6 C-146A	40	特殊戦機	空軍
7 UC-35A/D	39	軽輸送機	海兵隊、陸軍
8 C-5M	37	大型輸送機	空軍
9 KC-10A	32	大型空中給油機	空軍
10 UH-60L	31	汎用ヘリコプター	陸軍
11 MC-130J	30	特殊戦機	空軍
12 KC-130J	25	空中給油機	海兵隊
13 C-12U	24	軽輸送機	陸軍
14 C-130	22	輸送機	空軍、海軍、空自
15 C-40A/B/C	21	輸送機	空軍、海軍
15 P-8A	21	対潜哨戒機	海軍
17 U-4	20	輸送機	空自
18 C-37A/B	11	要人輸送機	空軍、海軍、陸軍
18 RC-135S/W	11	電子偵察機	空軍
20 C-32A/B	10	要人輸送機	空軍
20 F-16C/D	10	戦闘機	空軍

【所属基地別】

基地名	県/州	機数	軍
1 岩国	山口県	86	海兵隊
2 嘉手納	沖縄県	74	空軍
3 Travis	California	58	空軍
4 座間	神奈川県	56	陸軍
5 厚木	神奈川県	51	海軍
6 Hickam	Hawaii	46	空軍
7 Grand Forks	North Dakota	39	空軍
8 Duke Field	Florida	38	空軍
9 Elmendorf	Alaska	31	空軍
10 入間	埼玉県	30	空自
11 ソウル	韓国	25	陸軍
12 Andrews	Maryland	23	空軍、陸軍、海軍
13 Jacksonville	Florida	21	海軍
14 普天間	沖縄県	19	海兵隊
15 Beale	California	17	空軍
16 Kelly	Texas	16	空軍
17 Beaufort	South Carolina	12	海兵隊
17 McChord	Washington	12	空軍
19 Offutt	Nebraska	11	空軍
19 Charleston	South Carolina	11	空軍
21 三沢	青森県	10	空軍
21 March	California	10	空軍

2020年度の機種別・飛来機ランキングのトップは大型輸送機C-17Aの127回でした。実はこの回数減少しているのです。2018年度は215回、2019年度は194回でした。米軍がチャーター機を多用しているせいだと思われます。

離島奪取作戦を訓練

12月の日米演習 対中戦略一体化

陸上自衛隊相馬原(群馬県高崎市、榛東村)、関山(新潟県上越、妙高両市)の両演習

習場で行われた米海兵隊と陸自の共同演習「フォレスト・ライト」(昨年12月7、8日)が、米軍の対中戦略に基づく離島奪取作戦の訓練だったことが分かり、住民が批判の声をあげていました。

米海兵隊のニュース(同21日付)は「MV 22オスプレイとCH47ヘリが頭上で作戦する下、米海兵隊と日本の兵隊のオスプレイ6機



日米共同演習で行われた米海兵隊オスプレイを使った偽傷者搬送訓練。12月12日、群馬・相馬原演習場(米国防務省動画画像配信サービスVIDIS)



日米共同訓練に抗議し、中止を求める参加者。12月13日、相馬原演習場入り口

や陸自CH47大型ヘリ4機などを使い、相馬原から関山まで飛行し、部隊を投入する訓練なども行いました。米海兵隊の新たな「遠征前進基地作戦」(EABO)の支援を目的に実施。演習場を島にみたく日米一体で通信、部隊移動、火力攻撃などの軍事作戦について訓練しました。EABOは東シナ海や南シナ海をとりまく島を占拠して長射程のロケット砲を配置し、艦船や航空機への威嚇・攻撃をする作戦です。安保放棄群馬県実行委員会(危険なオスプレイの飛行や敵基地攻撃・先制攻撃のための訓練の中止を)と訴え、同3日に県庁前でのスタンディング、同7、13両日に演習場入り口前で抗議行動。新潟県では「憲法を守る新潟県共同センター」が同2日に訓練中止を限に要請したほか、同5日に上越市で「戦争法廃止一総がかり行動11新潟実行委員会」が演習反対の県民集会を開きました。